

## コミュニティ・スクールだより Vol.3

発行者 松ヶ崎小中学校 学校運営協議会  
 コミュニティ・スクールディレクター 北愛子  
 地域コーディネーター 石井沙耶

初冬の候、皆様におかれましてはますますご健旺のことと存じます。  
 平素は学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

11月29日(水)、令和5年度第3回 学校運営協議会を開催いたしました。

今年度より、地域と学校が共に子どもたちを育むことを目指して、松ヶ崎・岩首地区が一体となって何ができるのか【話し合う】時間を設けることに挑戦しています。

第3回目の話し合いの最終目標は【具体的な取り組みステップを考える】こと。前回の話し合いで決まった4つのプロジェクトから、実際に自分が取り組みたいと思うものを選んでいただきました。

※ただし、学校運営協議会委員の仕事は、地域学校の課題解決のために協議をすることです。その他の活動は任意であることをCSディレクターの北よりお伝えし、会を始めました。

<プロジェクト一覧>

- ①就職エージェントをつくろうプロジェクト
- ②バス通学しない日をつくろうプロジェクト
- ③学校を地域に開放するプロジェクト
- ④紅葉山をもっとみんなの愛する場所にプロジェクト

グループにわかれたあとは、模造紙を使い、

- ・プロジェクトのゴールに向けて具体的にどのようなアクションが必要か？
  - ・そのアクションには、どんな協力者が必要か？
- を考え、各グループ発表しました。

▼複数プロジェクトはありますが、ここでは「紅葉山をもっとみんなの愛する場所にプロジェクト」の一例をご紹介します

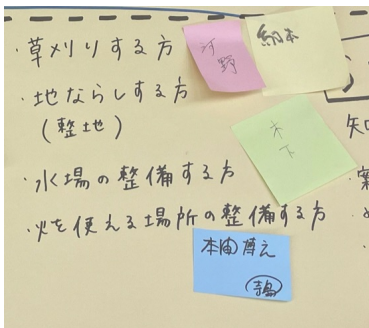
- STEP1 管理している人に話を聞いてみる  
 STEP2 紅葉山を守る会、松夢会、PTAなど  
 関わってくれる方と話し合う  
 STEP3 実際に作る（まずはキャンプ場など  
 すぐに取りかかれるものから）  
 GOAL アスレチックやツリーハウスなど  
 子どもたちが遊べる環境にする！



発表のあとは、各グループの模造紙を見て回り、「このアクションのとき自分はこういう形で協力できる」「〇〇さんが協力してくれそう」など、自分や地域の人のできることを付箋に書いて貼っていました。



↑「あなたこれできるんじゃない?」「〇〇さんはどうかな?」  
など、他の人と話しながら付箋を貼っている姿も見られました。



← 紅葉山をもっとみんなの愛する場所にプロジェクトでは  
「草刈りする方」「整地する方」などが必要な協力者として挙げられ  
何人かの委員のみなさまの名前が書かれた付箋が貼られていました。

来年2月の第4回学校運営協議会では、今回立てた計画がその後どのような展開を見せたのかを発表していただきます。また、CSディレクターや地域コーディネーターも今後の活動の力になるべく、月に1回程度、活動の進捗について何う機会を設ける予定です。

今年度より、これまでの学校運営協議会の形式を大きく変え、一方通行の伝達ではなく【話し合う】ことに重きを置いて進めてきました。初めての試みということで、手探りな部分もありながら実施してきましたが、委員のみなさまのご理解とご協力のおかげで、第1回～第3回どれも有意義な場になりました。

次回の第4回で今回の取り組みは一区切りとなりますが、次年度以降も、子どもたち・学校・地域のための学校運営協議会になるよう、尽力してまいります。引き続きよろしくお願いたします。

寒さが厳しくなってきましたので、体調を崩さぬようお過ごしください。